

(施策評価表8)

【施策番号 I-1-②-2】

取組みの方向性	活力を創る	戦 略	【戦略1】ビッグチャンスを生かす ～県経済の力強い成長をリードします～	主な施策	◆ストーリー性のある観光戦略を展開する ～熊本ならではの観光戦略の推進～
			②九州の観光拠点化		

1 取組内容	2 主な事業	上段:H25事業 下段:H24事業	担当課	H25予算(千円) H24決算(千円)	3 平成24年度の主な成果	4 平成25年度の推進方針・推進状況	5 施策を推進する上での課題	6 今後の方向性
<p>・ 日本を代表する観光地である「阿蘇」をまず目的地に選んでもらえるよう、草原に放牧されるあか牛や温泉でのおもてなしなどの魅力を磨き上げるとともに、トレッキングや自転車等で楽しめる新たな取組みを民間や関係者とともに進めます。</p>	熊本観光ブランド形成事業		観光課	1,500	<p>・ 阿蘇等を重点とした「ようこそくまもと観光立県推進計画」を策定し、同計画に基づく取組みを推進した。</p> <p>・ 阿蘇温泉観光旅館協同組合と連携し、「阿蘇カルデラツアー」の一環として、満天の星空を楽しみながら乗馬する「スターライトトレッキング」の催行を実現（H24年10月～H25年3月）。123人の観光客が参加した。</p> <p>・ 内牧温泉近くにある北塚・灰塚・本塚で開催される「野焼き・輪地切り支援ボランティア初心者研修会」に合わせて野焼き見学ツアー（熊本発着・福岡発着）をH25年2月に2回催行。180人の観光客が参加した。</p> <p>・ 県内の協賛施設に宿泊した方限定で、3日間有効の無料温泉入浴券「くまもと湯巡手形」を提供（H24年10月～H25年3月）。県内各温泉地への誘客に繋がった。</p>	<p>・ 阿蘇地域の「温泉地」の活性化を推進する。</p> <p>・ ウォーキングをテーマとした観光コースを開発し、県内外にPRする。</p> <p>・ 阿蘇地域でのサイクリング観光を促進する「阿蘇サイクルーリング」を推進する。</p>	<p>・ H23年3月の九州新幹線全線開業の効果を、永年に亘って継続させるために、新規観光客の獲得とあわせて、リピーター客の増加が欠かせない。そのために、何度も来訪したくなるような、魅力的でアピール力のある“熊本観光ブランド”の形成を急ぎ進めていく必要がある。</p> <p>・ 市町村はもとより、民間事業者との連携が必要である。</p>	<p>・ 温泉、ウォーキング等をテーマとした旅行商品を開発していく。</p> <p>・ 阿蘇地域でのサイクリング観光の定着化を図っていく。</p>
				1,500				
<p>・ 平家落人(おちうど)伝説のある五木・五家荘(ごかのしょう)への旅、装飾古墳をはじめ古代からの史跡の宝庫である玉名・山鹿・菊池をめぐる菊池川温泉郷の旅、キリシタン史跡を結ぶ天草南蛮文化の旅など、県内各地の歴史・文化を生かしたストーリー性のある観光戦略を進めます。</p>	熊本観光ブランド形成事業		観光課	1,500	<p>・ 大河ドラマ「平清盛」に合わせ、歴史回廊くまもと観光キャンペーン「平家遺産をめぐる旅」を展開（H23年12月～H24年12月）。平家御膳等、郷土料理の販促に繋がった（1,531食）。</p> <p>・ 熊本の歴史文化をテーマとしたバスツアー「くまもと再発見の旅」を次のとおり催行。881人の観光客が参加した。</p> <p>①芦北・水俣「薩摩街道と偉人たちの足跡を訪れる」 ②五木村探訪と国宝青井阿蘇神社 ③平家遺産を巡る旅 ④野焼き ⑤KUMA鉄カフェトレインで行く奥球磨</p>	<p>・ 各地の歴史・文化等を活用したバスツアー「くまもと再発見の旅」を引き続き運行する。</p>	<p>・ より多くの観光客を集客できるよう、歴史文化遺産を改めて見直し、磨き上げる必要がある。</p>	<p>・ テーマ性の高いバスツアーの開発を進めていく。</p> <p>・ 歴史・文化をテーマとした観光キャンペーンを展開していく。</p>
				100,000 99,995				
<p>・ 細川ガラシャや、熊本バンドを通じた京都と熊本のつながりなどを生かし、関西をターゲットとした観光戦略を進めます。</p>	大型イベント等プロモーション事業		観光課	5,410	<p>・ 細川ガラシャとその父明智光秀、さらには細川幽斎・忠興を主人公とする大河ドラマの実現に向けて、京都府知事を顧問、長岡京市長を会長としてH23年4月に発足した「NHK大河ドラマ誘致推進協議会」にオブザーバーとして参加しており、H24年6月に同協議会会長及び顧問代理京都副知事等が日本放送協会(NHK)長及び大河ドラマ担当理事あてに実施した要望活動に参加した。</p>	<p>・ 「NHK大河ドラマ誘致推進協議会」と連携して大河ドラマ誘致に取り組む。また、協議会の7市1町の構成自治体を実施するリレーイベントに対し、くまもんの派遣等の側面支援を行う。</p>	<p>・ 長年にわたる景気低迷の中、多くの地域が観光振興を地域活性化の柱と位置付けており、とりわけ固定ファンも多い大河ドラマの採択は競争率が非常に高いため、継続して取り組んでいく必要がある。</p>	<p>・ 細川ガラシャ等を主人公とする大河ドラマの実現に向けて引き続き取り組んでいく。</p> <p>・ 熊本と京都のつながりを生かした細川ガラシャの大河ドラマ化により、京都を中心とした関西方面で熊本の露出（PR）を増やし、熊本への誘客を促進する。</p>
				3,968				
主な施策のまとめ					<p>●阿蘇等を重点とした「ようこそくまもと観光立県推進計画」を策定。</p> <p>●「スターライトトレッキング」や初心者研修会に併せた野焼き見学ツアーに303人が参加。</p> <p>●無料温泉入浴券「くまもと湯巡手形」の提供が、県内各温泉地への誘客に寄与。</p> <p>●観光キャンペーン「平家遺産をめぐる旅」の展開による郷土料理の販売増加、バスツアー「くまもと再発見の旅」に881人が参加。</p>	<p>●阿蘇地域の「温泉地」の活性化やウォーキングをテーマとした観光コースの開発・PR、「阿蘇サイクルーリング」等を推進。</p> <p>●「くまもと再発見の旅」を引き続き運行。</p> <p>●「NHK大河ドラマ誘致推進協議会」と連携した大河ドラマ誘致。</p>	<p>●リピーター客の増加に向けた“熊本観光ブランド”の早急な形成。</p> <p>●市町村及び民間事業者との連携。</p> <p>●各地の歴史文化遺産の見直し・磨き上げ。</p> <p>●大河ドラマ誘致の継続的活動。</p>	<p>●温泉、ウォーキング等をテーマとした旅行商品の開発とサイクリング観光の定着化。</p> <p>●「くまもと再発見の旅」の利用者数の増加と歴史・文化をテーマとした観光キャンペーンの展開。</p> <p>●大河ドラマ化の活動継続とこれを契機とした関西方面での熊本の露出増加による誘客促進。</p>